

2026年度 研究開発助成事業 札幌イノベーション事業化支援事業 札幌イノベーション事業化支援補助金（シーズ育成枠）（2件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
1	ストーマケア支援アプリの開発と運用体制の構築 オストメイトが抱える課題は多くその支援も十分とは言えない。近年、デジタルツールによる支援の有用性が報告されている。本研究では、札幌市内5病院で実施したストーマケア支援アプリに関するニーズ調査を基に、支援アプリの開発、運用ルールの策定、試作基盤を構築し、小規模実証を通じて事業化可能性を検討する。	寺村 紘一 [斗南病院／ 外科医長]
2	エラスチン分解マーカールを用いた血管石灰化の早期診断技術の開発 CKD-MBDに伴う血管石灰化は無症候性に進行し、早期診断法が確立されていない。本研究では、血管石灰化の初期病変である血管壁弾性板の分解に着目し、その分解産物であるデスモシンを血中バイオマーカー候補として評価し、動物モデルでデスモシンと石灰化進展との関連を解析することで早期診断法の開発を目指す。	長谷川 智香 [北海道大学大学院歯学研究院／ 准教授]

2026年度 研究開発助成事業 札幌イノベーション事業化支援事業 札幌イノベーション事業化支援補助金（産学連携枠）（7件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
1	脊椎単純 CT 画像を用いた AI 神経セグメンテーションによる 脊椎内視鏡手術支援基盤の開発 低侵襲脊椎手術需要が高まる中、高精度 3D 描出技術の欠如から骨構造と神経走行を統合した手術支援技術は十分でない。本研究では、脊椎単純 CT 画像から深層学習により神経領域を高精度に抽出し、骨構造と同一座標系で 3D 可視化することで、脊椎内視鏡手術の術前計画、教育支援、将来的なナビゲーション開発の基盤を構築する。	山田 勝久 [北海道大学病院／ 講師] 堀米 俊弘 [合同会社 GomesCompany／ 代表社員] 清水 智弘 [北海道大学病院／ 講師] 小甲 晃史 [北海道大学大学院医学研究院／ 客員研究員] 糸賀 稜 [北海道大学大学院医学研究院／ 医員] 横山 慎 [北海道大学大学院医学研究院／ 医員]
2	腸への作用を期待したヒアルロン酸オリゴ糖の製剤開発 市販のヒアルロン酸 (HA) 製剤は精製度が低く、一定のばらつきが認められる。本研究では、低分子化した HA に焦点を当て、申請者らが開発した定量法や精製手法を用い、HA オリゴ糖経口投与後の詳細な体内動態を明らかにするとともに、HA オリゴ糖の腸と皮膚に対する作用を期待した製剤開発を目指す。	佐藤 夕紀 [北海道大学大学院薬学研究院／ 講師] 菅原 満 [北海道大学大学院薬学研究院／ 教授] 宮本 宜之 [丸共バイオフーズ株式会社／ 代表取締役] 水田 紘子 [丸共バイオフーズ株式会社／ 研究員] 中村 光佑 [丸共バイオフーズ株式会社／ 研究員]
3	サケ鼻軟骨プロテオグリカンの機能性解明と社会実装への基盤構築 昨年度特定したサケ鼻軟骨由来プロテオグリカン（SCP）の新規機能性（骨格筋、肝臓、腸への作用）を社会実装するため、ヒト実用領域における有効性を老齢マウスへの給餌試験により検証し、作用機序の解明にアプローチする。ヒト臨床試験の設計に資する科学的根拠を構築することで、次世代機能性素材の開発を加速する。	岡崎 寛大 [株式会社リナイス／ 企画開発本部 課長] 木原 稔 [東海大学／ 教授] 高田 健司 [株式会社リナイス 企画開発本部／ 研究員]
4	先天性心疾患の心大血管血流評価に向けた計算流体力学手法の開発 4D flow MRI を用いた心臓病の血流評価による病態把握や予後予測は新指標として注目されている。一方で、画像精度や撮影設定の課題解決には数年以上かかることがわかっている。計算流体力学(CFD)はその点を克服しやすく医療の進歩に直結するため、CFD を一般臨床で利用できることを目標に研究開発を行う。	高嶋 英敏 [株式会社 A I S 北海道／ 取締役専務] 岡 秀治 [旭川医科大学／ 助教] 伊達 宏昭 [北海道大学大学院情報科学研究院／ 教授]
5	循環腫瘍-血管内皮細胞クラスター検出による転移診断法の開発 我々は、がん細胞-腫瘍血管内皮細胞（TEC）塊（クラスター）を形成し、癌患者血中に循環していること、また転移と密接に関与することを見出した。本研究では循環するがん細胞-TEC クラスターを捕捉するデバイスを開発し、新たな転移治療標的分子を同定することを目指す。	樋田 京子 [北海道大学大学院歯学研究院／ 教授] 渡慶次 学 [北海道大学大学院工学研究院／ 教授] 真栄城 正寿 [北海道大学大学院工学研究院／ 教授] 須佐 太樹 [ライラックファーマ株式会社／ 代表取締役]

2026年度 研究開発助成事業 札幌イノベーション事業化支援事業 札幌イノベーション事業化支援補助金（産学連携枠）（7件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
6	自己免疫疾患に対する CXCR3 の治療標的としての有用性検証 申請者らは、CXCL10-CXCR3 経路を介した T リンパ球の炎症部位への遊走を阻害する抗ヒト CXCR3 抗体を創製した。多発性筋炎、皮膚筋炎及び膠原病関連間質性肺炎等の自己免疫疾患に対する新規分子標的薬として開発する。本事業では、動物モデルによる薬効試験で抗 CXCR3 抗体の有効性を確認する。	高崎 淳 [株式会社エヌビー健康研究所／取締役] 喜田 宏 [北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 ／ 特別招聘教授・統括] 沖山 奈緒子 [東京科学大学／ 教授] 井藤 勇輝 [株式会社エヌビー健康研究所 研究開発部創薬研究室／課長] 栗林 沙弥 [株式会社エヌビー健康研究所 研究開発部創薬研究室／ 研究員] 野村 さおり [株式会社エヌビー健康研究所 研究開発部創薬研究室／ 研究員] 林 ゆき [株式会社エヌビー健康研究所 研究開発部創薬研究室／ 研究員] 鎌田 曜子 [株式会社エヌビー健康研究所 研究開発部創薬研究室／ 研究員]
7	難治性消化管潰瘍に対する 3D-MSC 粘膜局所治療法の開発 ゼラチンハイドロゲル(GHP)または多孔質膜(DR)を用いて MSC を 3 次元培養し、GHP-MSC、 DR-MSC の細胞賦活化効果、薬理効果と作用機序、局所投与による病変部への滞留性、安全性、事業化における製造適性を一体的に評価し、難治性消化管潰瘍に対する最適化された 3D-MSC 局所治療法を開発する。	永石 歓和 [札幌医科大学／ 教授] 仲瀬 裕志 [札幌医科大学／ 教授] 川村 芳江 [株式会社ミネルヴァメディカ ／ プロジェクトマネジャー]